

## 第6次豊丘村総合振興計画 基本構想（案）パブリックコメントに寄せられたご意見及び回答

実施期間：令和5年2月20日（月）～3月3日（金）

受付件数：1名（3件）

番号	対象箇所	ご意見の主旨	回答
1	序論 2 時代の潮流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境問題というより『気候危機』として、危機が生じている過程・本質的問題を提起すべき。</li> <li>・昭和40年代の高度経済成長時代の公害問題とは比にならない、地球規模の環境問題であることをきちんと書くべき。</li> </ul>	<p>ご意見いただきました『環境問題』という表現については、地球温暖化をはじめとした気候変動問題に限らず、海洋汚染や生態系の保全等様々な問題を総合的に表すよう使用しました。</p>
2	序論 2 時代の潮流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・また、その対策として、カーボンニュートラルの取り組みとして経産省の『グリーン成長戦略』は、持続可能な世界の在り方を考えた時に整合性がない施策も多く、この先10年を見据えた計画の序論に記述するには適しないのではないかと。</li> </ul>	<p>『環境問題』の中でも、喫緊の課題である「地球温暖化問題」への対応に関する国の戦略を総合的に示すものであり、序論に必要なものかと考えております。</p>
3	基本構想 3 施策の大綱 (3) 共通する視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての施策分野に共通する視点として、デジタル化と持続可能性（環境問題）はあると思うが、『リニア開業』は、全ての施策分野に必要な視点であるというのは不自然である。</li> <li>・所詮一企業の事業であり、10年先に開通するかは不確か。</li> <li>・行政は住民の幸福を第一に、健康に暮らせる枠組みを維持することを第一に考えてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本では、経済の発展と地域振興のため、国がイニシアチブをとりながら、全国新幹線鉄道整備法に基づき計画的に新幹線の建設が進められています。その中で、リニア中央新幹線については、東京・名古屋・大阪を結ぶ日本の大動脈である東海道新幹線のバイパスとしての役割を期待されており、民間主導の事業ではあるものの、21世紀の日本経済・社会を支える国家的プロジェクトであると認識しています。</li> <li>・『リニア開業』により当村と東京・名古屋の大都市圏との時間距離が大幅に短縮されることは、当村にとって大きなインパクトであり、村の10年先を見据えた時、様々な分野において開業に備えた施策を進めていくことは重要であると考えております。</li> <li>・ご指摘のとおり、住民の安心・安全な生活を確保することは行政本来の役割であり、基本構想の中で言及しています。</li> </ul>